

News Release

2012年3月26日

ランクセス、2011年度第4四半期 / 通年の業績を発表

～ 記録を再度更新し、さらなる成長へ ～

ランクセス株式会社

- 2011 年度通年の売上高: 87 億 7,500 万ユーロ(前年比 23%増)
- 特別項目調整前 EBITDA*¹: 11 億 4,600 万ユーロ(前年比 25%増)
- 純利益: 5 億 600 万ユーロ(前年比 34%増)
- 「販売量よりも価格を優先する」戦略が成功を収める
- 2011 年度 配当案: 1 株 0.85 ユーロ(前年比 21%増)
- 2012 年度第 1 四半期の特別項目調整前 EBITDA は、前年同期(3 億 3,000 万ユーロ)を上回る 3 億 5,000 万ユーロ達成の見込み

ドイツの特殊化学品メーカーのランクセス(LANXESS)は、2011 年度第 4 四半期と通年の業績を発表しました。当社は 2011 年も引き続き成長軌道をまい進し、記録的な売上高および利益を達成しました。グループの「販売量よりも価格を優先する」戦略、数々の買収の成功、そして新興国市場への注力が功を奏し、2011 年度通年の連結売上高は、前年比 23%増の 87 億 7,500 万ユーロを達成しました。特別項目調整前 EBITDA は、25%増の 11 億 4,600 万ユーロとなり、ランクセス設立以来、初めて 10 億ユーロを突破しました。特別項目調整前 EBITDA マージン*²は、13.1%(2010 年:12.9%)となりました。純利益は前年比約 34%増の 5 億 600 万ユーロとなり、売上高および特別項目調整前 EBITDA の増加率に比べても純利益の増加率は目覚ましいものとなりました。

ランクセスの CEO であるアクセル・ハイトマンは 3 月 22 日に開催した年次記者会見の席で次のように述べています。「昨年の記録的な業績に続いて、2012 年も好スタートをきりました。これを踏まえて、2012 年度第 1 四半期の特別項目調整前 EBITDA は、3 億 3,000 万ユーロから 3 億 5,000 万ユーロを見込んでいます。これは、前年同期の記録的な業績を上回るものです。ランクセスは、世界のメガトレンド、特に車社会化(モビリティ)をサポートする革新と技術を基盤に、持続可能なモビリティを可能にするソリューションに注力し、さらなる成長を目指します」

2011 年には、ランクセスの「グリーンモビリティ」に関連する製品および技術は、総売上高の約 17%となる約 15 億ユーロを占めています。「2015 年までに現在の数字を 80%増の約 27 億ユーロに引き上げたいと考えています」と、ハイトマンは述べています。

2011 年度第 4 四半期:堅調に推移

2011 年度第 4 四半期売上高は、目覚ましい業績を達成した前年同期を上回る、16%増の 21 億 2,300 万ユーロとなりました。特別項目調整前 EBITDA は、前年同期(1 億 7,200 万ユーロ)より微増の 1 億 7,400 万ユーロとなりました。

特別項目調整前 EBITDA マージンは、合成ゴム製造施設でのメンテナンスによる閉鎖、原料価格変動に伴う在庫評価減 3,500 万ユーロ、顧客の在庫調整などが影響し、8.2%と前年同期(9.4%)より微減となりました。パフォーマンスポリマーズ部門は、部門別の特別項目調整前 EBITDA において、最大の増加率を記録しました。一方、サルティゴビジネスユニットの医薬品事業再編に伴う約 2,000 万ユーロの特別損失、および通常の季節変動の影響により同四半期の純利益は 500 万ユーロ(前年同期:2,600 万ユーロ)となりました。

地域別業績:新興国市場の活況

2011 年の全地域の売上高は 2 桁台の増加率を達成しました。

中南米地域の売上高は、前年比 26%増の 12 億ユーロとなり、最大の成長率を達成した地域となりました。ランクセスグループの総売上高に占める同地域の割合は増加し、約 14%となりました。ブラジルにおけるパフォーマンスポリマーズ部門が主な牽引役となりました。

アジア太平洋地域の売上高は、前年比 23%増となり、初めて 20 億ユーロ超となりました。同地域はランクセスグループの総売上高の約 23%を占めています。同地域においてもパフォーマンスポリマーズ部門が最大の成長率を達成しました。

EMEA(ドイツを除く欧州、中東、アフリカ)地域の売上高は、前年比 25%増の 25 億ユーロを達成し、引き続きグループ最大の売上高を誇る地域となりました。前年同様、同地域はグループの総売上高の約 29%を占めています。パフォーマンスポリマーズ部門とアドバンスト中間体部門が主な牽引役となりました。

北米地域の売上高は、前年比 24%増の 15 億ユーロで、グループの総売上高の約 16%を占めています。同地域のパフォーマンスポリマーズ部門の売上高は前年比約 40%の増加となりました。

ドイツの売上高は、前年比 19%増の 16 億ユーロで、グループの総売上高の 18%を占めています。同地域のパフォーマンスポリマーズ部門は 2 桁台の成長率を達成し、パフォーマンスケミカルズ部門とアドバンスト中間体部門は、1 桁台後半の成長率を示しました。

BRICS 諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ)の売上高は、前年比 28%増の 21 億ユーロとなり、グループの総売上高の 24%(2010 年:23%)を占めています。

事業分野別の業績:メガトレンドが全部門を牽引

パフォーマンスポリマーズ部門は、前年比 37%増の約 51 億ユーロを達成し、部門別売上高において最大となりました。ブチルラバーとパフォーマンスブタジエンラバーズの両ビジネスユニットが OEM およびタイヤ買い替え市場の旺盛な需要から恩恵を受けました。自動車メーカーからの需要増加を受け、テクニカルラバープロダクツとセミクリスタリンプロダクツの両ビジネスユニットの売上高も増加しました。テクニカルラバープロダクツビジネスユニットは、EPDM 事業(「ケルタン(Keltan®)」)の買収が貢献し、ビジネスユニット別で最大の成長率を達成しました。本部門の特別項目調整前 EBITDA は、前年比 40%増の 7 億 6,800 万ユーロとなりました。

アドバンスト中間体部門の売上高は、主に農薬の旺盛な需要が継続し、前年比 9.5%増の 15 億ユーロとなりました。サルティゴビジネスユニットは、殺菌剤中間体の販売量が増加する一方で、医薬中間体の販売量が減少しました。特別項目調整前 EBITDA は、前年比約 2%増の 2 億 6,400 万ユーロとなりました。

パフォーマンスケミカルズ部門の売上高は、前年比 7.7%増の 21 億ユーロとなりました。自動車関連産業向けの売上高の大半を占めるゴム薬品とラインケミーの両ビジネスユニットの販売量が大幅に増加しました。年末に向けて建設業界からの注文が減少したため、無機顔料ビジネスユニットの売上高は減少しました。本部門の特別項目調整前 EBITDA は、3%増の 2 億 8,900 万ユーロとなりました。

強固な財務基盤

好業績とそれに伴う健全な営業活動からのキャッシュフローおよび堅固な財務基盤の結果、2011 年は、ランクセスは成長戦略を順調に推進することが出来ました。設備投資によるキャッシュアウトは、前年比 36%増の 6 億 7,900 万ユーロ(2010 年:5 億 100 万ユーロ)となりました。研究開発費用は、約 24%増の 1 億 4,400 万ユーロとなりました。

2012 年の設備投資のキャッシュアウトは、約 6 億ユーロを見込んでいます。研究開発予算は、前年比 40%増となります。

2011 年の営業活動によるキャッシュフローは、順調に推移しました。運転資本が増加したにもかかわらず、営業活動によるキャッシュフローは、4 億 3,000 万ユーロから 6 億 7,200 万ユーロに増加しました。一方、純金融負債は、9 億 1,300 万ユーロから 15 億 1,500 万ユーロに増加しました。

ランクセスの CFO であるベルンハルト・デュットマンは次のように述べています。「数々の買収と設備投資の増額がこの負債の増加の主な要因となっています」。しかし、特別項目調整前 EBITDA に対する純負債率は、1.0 から 1.3 に微増するにとどまりました。「この数字は、ランクセスが健全な財政管理を維持していることをあらわしています」

配当増額を提案

ハイトマンは次のように述べています。「2011 年の好業績を反映し、前年比 21%増の1株あたり 0.85 ユーロを提案します」この場合、配当総額は 7,100 万ユーロとなります。この提案は、2012 年 5 月 15 日にケルンで開催される年次株主総会での承認を必要とします。

世界の従業員数が増加

2011 年末時点におけるランクセスの世界の従業員数は、前年比 12%増の 16,390 名となりました。この増加は主に、数々の買収および成長戦略に伴う新規採用によるものです。研究開発部門だけで 200 名以上の増加となり、その大半がドイツでの採用となりました。現在、ランクセスの世界中の化学者およびエンジニアは、730 名を越えています。

今後の見通し:有望な 2012 年

2012 年は有望なスタートをきり、さらに成長を期待できる年と確信しています。特に新興国市場において堅調な成長が見込まれます。メガトレンドのモビリティの重要性がますます高まっています。ランクセスは、農薬のエンドユーザー市場の堅調な成長が継続し、建設業界においても緩やかな回復基調にあると予測しています。

しかし、高水準の公的債務、不安定な為替変動、変動する原料価格、一部の欧州の顧客の慎重な注文などの不透明さは残ります。ランクセスは、2012 年 5 月 9 日に行われる第 1 四半期業績レポート報告の際、例年通り、本年度の見通しの詳細に関して発表します。

パフォーマンスポリマーズ部門は、2012 年もエコタイヤの旺盛な需要から再び恩恵を受けると予測しています。今年 11 月に EU で導入されるタイヤラベリング制度がこの需要を後押しするでし



免責について (Forward-Looking Statements):

このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

その他の情報:

ランクセスのニュースリリースは www.lanxess.co.jp の”プレスリリース”項目よりご覧ください。また、役員およびその他の写真は photos.lanxess.com (英語)より入手いただけます。ランクセスの動画および音声、ポッドキャストについては下記をご覧ください。<http://corporate.lanxess.com/en/media/audio-video/> (英語)ランクセスのウェブマガジンは下記でご覧いただけます。<http://webmagazine.lanxess.com/> (英語)

(2012-00033J)